

■ソーシャルメディアご利用について

ソーシャルメディアとは、Twitter（マイクロブログ）、mixi、Facebook（SNS）、YouTube（動画共有）など、個人や組織が自前でシステムを構築・保持することなく手軽にインターネット上に情報を発信し、友人・知人や趣味・嗜好を同じくする人たちと、その情報を共有し、コミュニケーションを促進できるインターネットサービスのことです。

下記は、ソーシャルメディアを利用する際の注意事項やトラブルの例です。

皆様が、ソーシャルメディアをご利用される場合、就業期間中はもちろん、就業期間終了後も、トラブルに巻き込まれないよう、守っていただきたいルール・マナーなどを明文化しました。

1. 注意事項

ソーシャルメディアを利用する際は次の点に注意してください。

- ① 日本国のみでなく渡航先の法令を含む法令や公序良俗、又はクライアントの守秘義務に反する情報はもちろん、虚偽情報や不正確な情報は発信しないよう努めてください。なお、誤った情報を発信した際は、素早く訂正しましょう。
- ② 情報発信に際しては、ご友人などを含めた他者のプライバシーや権利（著作権、知的所有権、肖像権など）を侵害しないよう細心の注意を払いましょう。
- ③ 社会人として、良識と品位のある発言・投稿を心掛け、発信した情報には責任を持ちましょう。インターネット上にプライベートな空間はなく、一度発信した情報は、将来まで影響が残る可能性があることを自覚してください。
- ④ インターネット上でのコミュニケーションであっても、他者に敬意を払うことは忘れず、人種や性差、身体的・身体的特徴などによる差別的な発言、わいせつな発言、偏った批判、過度な宣伝・勧誘などで、閲覧者に不快な思いをさせないように気を付けましょう。他者の意見・多様性を尊重し、誤解を与えるような情報発信は控えてください。
- ⑤ 自分の身は自分で守ることが重要です。個人情報登録・公開をする際は、その安全性や必要性を十分に検討の上で行い、自分のアカウントを奪われて、なりすましや悪用をされないようパスワードの更新を定期的に行ってください。
また、GPS機能のついたデジカメやスマートフォンで撮影した写真には、位置情報が埋め込まれるようになっており、投稿状態によっては写真掲載のみで、いつどこで何をしたかというプライベート情報が筒抜けになってしまいますので、注意してください。

2. トラブルの例

上記注意事項を守らないソーシャルメディアの安易な利用は、次のようなトラブル、結果を招くことがあることを考慮してください。

- ① クライアントの機密情報を暴露。

→企業に不利益を与えた場合、損害賠償を求められるおそれがあります。

- ②「〇〇さんは今日、××で婚活飲み会」など、友人の交友関係を無断で投稿。
→人間関係の悪化や思わぬトラブルを生むおそれがあります。
- ③ニュースなどに対する偏った思想のつぶやきや侮辱的・わいせつな書き込み。
→たとえ個人的なページでの発信であっても、自分とは関係のない場所で取り上げられ、炎上・いやがらせなどの事態を招くことがあります。
- ④悪質なデマや不正確な情報の発信。
→軽い冗談のつもりでも、大きな社会問題となった事例もあります。
- ⑤悪ふざけの写真を投稿。
→最近もコンビニ店・ファストフード店の店員の投稿がマスコミに取り上げられる等により拡散し、社会問題化した例がありました。
- ⑥他者の携帯や自分の管理外のパソコンを使って、SNSにログイン。
→盗み見や「ログインしたまま」の状態で放置してしまうことで、アカウント情報の漏えいにつながり、悪用されるおそれがあります。

以上